



議会HPはこちらから
YouTubeでも配信中

いいまち 議会だより

集える第一歩へ!

第93号 令和3年4月15日

発行：長野県飯島町議会

P3

議会だよりモニターのひとつ
あれどうなった
6月議会の予定

P4・5

3月定例会
新年度予算
第6次総合計画スタートの予算！
過去14年間で最大

P6・7

総務産業分科会・委員会
進むか!? 課題解決
古民家の活用を(現場調査)

P8・9

社会文教分科会・委員会
「コロナ対策」充分か

P10

特別委員会
新エネルギー普及事業の連携できるか

P11

本会議
3月定例会 本会議表決結果

P12

臨時会
コロナ対策と今後のまちづくり どうする

P24

町民の声を議会へ
「飯島FC(フットボールクラブ)」
サッカーを通じた子どもたちの育成

町政を問う

ここが聞きたい

11 議員が質問

本 多 昇

働き方改革

持続可能な部活動の維持を…… P13

滝本登喜子

地域福祉

互助・共助活動の具体策は…… P14

久保島 巖

生物多様性地域戦略

早急に策定を…………… P15

橋場 みどり

買い物支援

移動販売車への対策は…………… P16

折 山 誠

新型コロナ

追加経済対策を求める…………… P17

坂本 紀子

コロナ禍

対策と支援は…………… P18

中村 明美

医療機関の充実

眼科医誘致を…………… P19

三浦寿美子

コロナ対策

空気清浄機の自治会貸し出しを… P20

好村 拓洋

新型コロナ対策

PCR検査キット配布を…………… P21

竹澤 秀幸

人口減に危機感を

M村に負けない対策を…………… P22

浜 田 稔

環境循環ライフ構想

具体性に乏しいのでは…………… P23

「一般質問」とは
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

第92号 広報紙面に対するご意見

- 表紙の写真はめずらしい体験会の写真で目を引きました。
- 表紙の写真には「マスク着用姿」の方が良かったのでは。着眼はよい。
- いつやったイベントか不明。撮影日を入れて欲しい。
- 目次が以前に比べすっきりして見やすい。
- 目次と本文と同じ写真や5Pの桜の写真2枚は同じ目的だ。スペース埋めなのか。同じ写真が使われていて、もったいない。
- 見出しの文字は以前より小さくなったが、文章の文字を大きくなった方がよいのでこのままでよい。工夫があり関心をもって読みやすい。
- モニターのひとことの文字が手書き風でよい。
- P4「コロナ禍に負けない町に」の見出しと本文内容との関係が分からない。
- P5「飯島町議会基本条例」とはいかなるもので、どう変わったのか。
- P5「町議選なり手不足解消なるか」は色々知ることができ良かった。
- 写真を見ただけで何のことも説明していて分かりやすい。
- P14のワーケーションの場所の写真とP21の工場用地の写真がどこか分かりません。意図の不明なものもある。
- 写真が大きい箇所があり、出来れば本文でより分かりやすく議会の討論や議員のやり取りを表現して貰いたい。
- 紙面構成上、グラフ・表が減り、大きく分かりやすい写真が所々にありよかった。
- 賛否が分かれた議案の表決結果が示されているのはよい。
- コロナ禍の中、町の取り組み対策が気になっていたのも、議員の質問に対する町長の返答に興味を持って見ました。

その他のご意見・感想

- 「あれどうなった」はとてもわかりやすい。1つだけでなく、いくつか掲載してください。
- 次回定例会の日程や傍聴できる日時をどこかのページに記載して欲しい。
- 議会だよりクイズも読者を楽しませて頂けるコーナーで良いと思います。
- 広瀬医師の遺志金を福祉基金という記事と写真をみて、今後この建物はどうなるかと感じました。

追跡 あれ どうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情 その後のゆくえ

問 令和元年12月定例会から一般質問3回
防犯灯修理にも補助を

答 検討する

その後

令和3年一般会計予算に計上

内容 修理代の1/2で、上限2万円

6月議会の予定

		備考
開会	6月4日	傍聴可
一般質問	6月7～8日	//
各常任委員会	6月9～15日	//
閉会	6月16日	//

※各日、午前9時10分から開会します。

※諸事情により変更になる場合もあります。

第6次総合計画スタートの予算！

3月定例会は、2月26日から3月11日までの14日間の会期で開催し、町教育委員会委員の人事案件1件・条例5件・令和2年度補正予算7件など計56議案を審議しました。

新年度予算全6会計は、予算特別委員会を設置・付託しました。審査内容と審議結果はP6～P10をご覧ください。

一般質問には11人が立ち、町政を質しました。

新年度予算の主な事業

子育て・教育

◇学校給食センター改築工事 (繰越事業)	6億7987万円
◇飯島体育館大規模改修工事	8702万円
◇本郷運動場トイレ整備工事	960万円
◇子育て支援施設整備補助	3612万円

福祉・介護

◇救急医療情報キット配布・記載支援業務	93万円
◇在宅老人福祉事業	1910万円
◇ひきこもり対策推進事業	252万円

保健・衛生・医療

◇多胎児ファミリーサポート利用費補助	34万円
◇新生児聴覚検査費用補助	25万円

農業

◇中山間地農業ルネッサンス推進事業	146万円
◇農振土地利用計画図作成業務	10万円
◇スマート農業推進事業補助	10万円
◇圃場整備事業(日曾利)概要書作成	2442万円

商業・工業・観光

◇新エネルギー普及対策事業	1121万円
◇御座松橋点検業務	300万円

定住・魅力デザイン

◇まちなか活性化支援人の配置	527万円
◇千人塚公園管理事業	29万円
◇「ひなどり奨学基金」への支援	120万円

道路・水路・橋梁

◇林道整備事業	920万円
◇町道測量設計業務	832万円
◇社会資本整備交付金事業	8050万円
◇水道老朽管更新工事	1億円

水防・砂防・治山・森林・防災

◇飯島警察官駐在所用地取得・造成	1209万円
◇防犯灯設置等事業補助金	39万円
◇非常備消防費	215万円

地方自治

◇環境循環ライフ構想推進費	256万円
◇庁内情報システム再構築業務	7700万円
◇農林水産省派遣研修	211万円

地域おこし協力隊

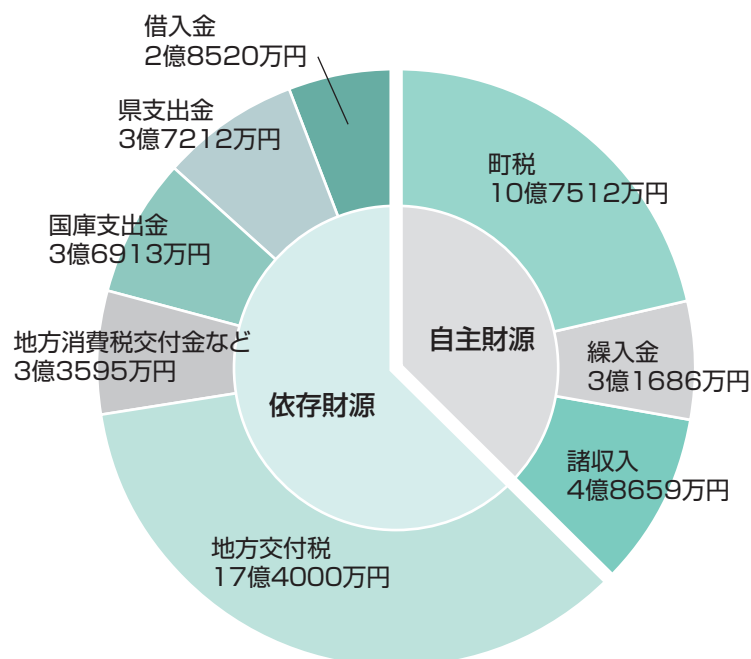
◇飯島流ワーケーション	434万円
◇第三者承継マッチング事業	445万円
◇関係人口創出事業	427万円

令和2年度 補正予算

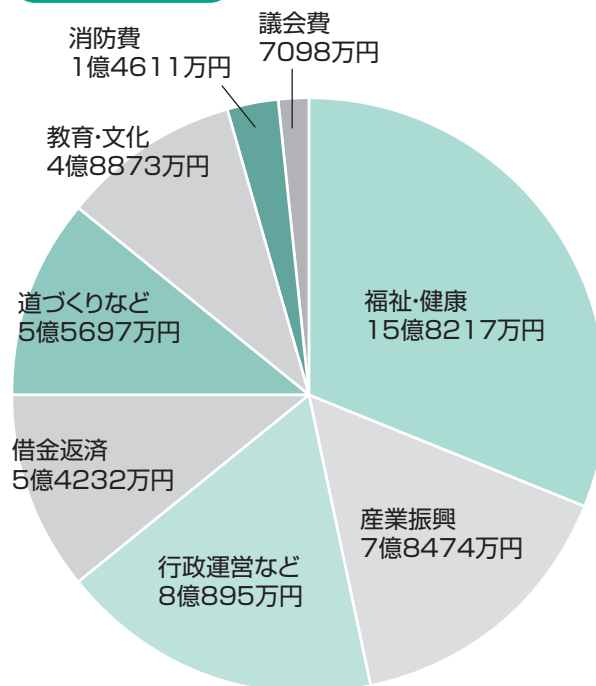
一般会計(第11号)	656万円 減
一般会計(第12号)	300万円 増
国民健康保険会計(第5号)	158万円 増
後期高齢者医療会計(第5号)	25万円 減
介護保険会計(第5号)	61万円 減
水道事業会計(第4号)	19万円 増
下水道事業会計(第4号)	600万円 減

予算の構成と推移

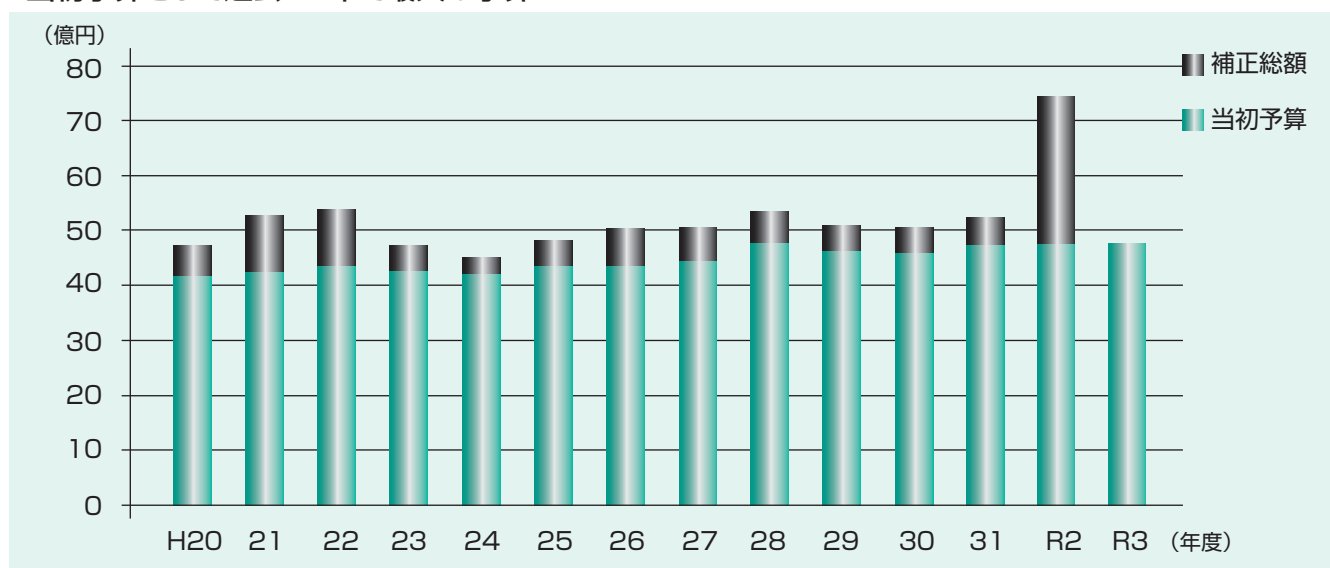
歳入



歳出



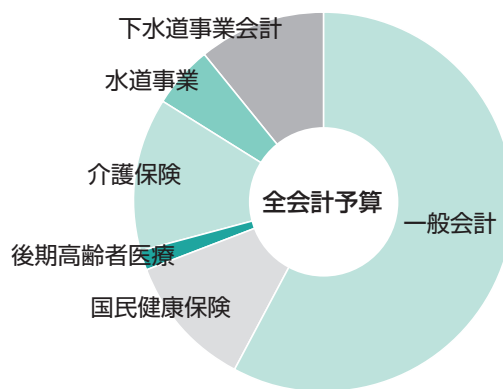
当初予算として過去14年で最大の予算



全会計予算

会計名	予算額	前年度比
一般会計	49億8100万円	2.6%
国民健康保険	9億6964万円	8.6%
後期高齢者医療	1億5754万円	6.1%
介護保険	11億2151万円	▲1.0%
水道事業	4億5713万円	▲3.5%
下水道事業会計	9億1255万円	▲4.4%
合計	85億9937万円	1.7%

※ 1万円未満切り捨て



3月定例会上程の、令和3年度各会計予算の分科会付託分を質疑しました。

主 な 質 疑

一 般 会 計

◇総務課

問 県選管からコロナ対策の指導はあるか。

答 県の指導書もきています。すでに他で行われた選挙事務情報もあり参考にする。

コロナ対策で空気清浄機・加湿器・自動検温器を購入しているので使用していく。

入場制限も検討する。

問 飯島駐在所の造成・引き渡しはの予定は。

答 令和3年6月以降に名義・地目変更し、年度中に建屋設計。令和4年中に建設・引っ越し・業務開始の予定だ。

問 町と県の負担割合は。

答 土地取得と造成は町負担。それ以外は県だ。

◇企画政策課

問 行財政改革の中身は何か。

答 当面は、押印の見直しを行っていく。

◇産業振興課

問 農振除外申請が令和3年から、年3回が2回になり、転用するスピードが遅くなるが。

答 1月に業者には周知している。町民へもHPで周知していきたい。

問 後継者不足と農業をやりたい人のマッチングは、どこが担っているのか。

答 農政係と定住促進室の2つに窓口を設けて、どちらでも相

談の向きによって繋げている。

問 スマート農業用*の基地局のアンテナはどこに立てるのか。

*人工衛星からの位置情報を利用した農作業機械の自動運転

答 役場につける。家庭用のアンテナと同じ大きさで、管理用コンピュータは役場に置く。

問 森林整備の意向調査業務の内容は。

答 岩間集会所の西側山林を30ha実施。9割の人が管理できず、森林組合と長期作業契約(10年間)をして、県の補助金で行っていくことになった。

問 令和5年からの日曽利の圃場整備計画と事業費・地元負担は。

答 面積23haの内訳は、山の田地区で3ha・日曽利地区20haの予定。

総事業費は大体10億円。地元負担は中山間整備事業で2%・町10%・国55%・県33%となっている。地元と調整し進めていきたい。

問 ため池管理システムとは。

答 洪水で水位が上がってきたとき、カメラもついているセンサー。

管理は地元でしてもらおう。場所は千人塚・針ヶ平・本郷・滝ヶ原・春日平の5カ所。

◇地域創造課

問 ひなどり奨学基金の内容は。

答 今年度のふるさと納税のメニューになっている。

運営に対しての補助というイメージ。内容には関与しない。

問 自治組織の課題と解決方法・負担軽減は。

答 根本的な負担は何かを考える。自治会長経験者や区長・有識者など5人くらいで会議をもって、自治会をどこまで小さくするのがいいか検討する予定。

町民や移住者を集めてワークショップもやりたい。令和3年に検討し、令和4年にスリム化した案を提示していく。



圃場整備予定の日曽利地区

◇建設水道課

問 広域農道舗装全体の計画は。

答 柏木交差点からふれあい橋までが8 km。

岩間交差点から町谷堤東まで3 kmできている。そこから北へ2 km来年度実施。

岩間交差点から柏木交差点まで残っているが、歩道の絡みを見ながら計画していく。

問 地籍調査のメリットは。

答 災害時の復旧が早い。民事がもめにくい。

特 別 会 計

◇水道事業会計

問 中川村との連携で、令和4年から増収が見込める。それに伴い水道料金の値下げは可能か。

答 中川村へ販売する料金を令和3年に確定した後、値下げの検討は年度内に決定する。

◇下水道事業会計

問 農集と公共を一つにする考えはあるか。

答 農集の機能診断を基に、施設の廃止か・統合か、どうするのが最適か検討した後決定する。

古民家の活用を

現場調査 1/14

総務産業委員会では、空き家2軒・改修した2軒・売却予定2軒・危険な廃屋2軒の現地を視察し、空き家を使って起業した移住者と懇談しました。

懇談の中で、一番困ったと聞いたのは『移住のため、金融機関からの借入の条件を満たせない部分があり、借入をすることが難しかった』と、事業資金の調達に苦労したようです。

古民家を活用するためにも、起業支援が必要だと委員全員が認識し、3月一般質問にて、町商工業振興資金の新規開業資金700万円以内を1000万円以内に、空き家の改修等補助金の50万円を100～200万円に限度額の増額を要望しました。



改修した古民家を視察

「コロナ対策」充分か

令和3年度各会計予算の分科会付託分を質疑しました。

主 な 質 疑

一 般 会 計

◇教育委員会

問 中学校にB&Gプールの送迎予算があるが費用対効果は。

送迎の時間もあり、授業時間に影響はないか。

答 中学校プールは修繕に要する費用の方が大きい。最近4～5年の平均コストとの比較で、80万円節約になる。

授業は2時間授業で時間ロスが減らす。



B&G プール

問 歴史民俗資料館（陣屋）の施設修繕費が5万円しか計上されていない。

今修繕しないと大きな費用が必要になるが。

答 大規模修繕を要望しているが、実施計画で先送りとなった。



修理を待たれる飯島陣屋

◇住民税務課

問 マイナンバーカードのマイナアシストとはなにか。

答 職員が公民館や事業所に向き、申請の受け付けを行う。その場で顔写真の撮影も含めて支援するシステムだ。

問 申請にはWi-Fi環境が必要になるが、対応方法は。

答 ポケットWi-Fiを使用し、本体は移動可能である。



マイナンバーカードの普及が図れるか

問 「環境循環ライフ構想推進室」が地域創造課に設置される。

水力やバイオマスなど「新エネルギー政策」の担当。

「新エネルギービジョン」の改定は、住民税務課が策定することになっている。

以前から、所管課が複数あることは良くないと、一元化を検討することになっていたはずだが、どのような検討がなされたか。

答 検討経過はわからない。

規制を含めた「新エネルギー政策」全体は、住民税務課が継

続して所管することになった。

問 「新エネルギービジョン」改定に、新たな推進室はどう関わるか。

答 改定は、住民税務課だけでは実現不可能なので、役場内全体で取り組む体制が必要。

実現のため、地域創造課含め関連部署に呼びかけ、会議を行っていく。

問 コロナの影響で、固定資産税の減免があるが、申請状況は。

答 特例措置50%減免が36件。100%減免が38件の申請を受けた。

予算の段階では、税額計算までできなかった。

問 減免予算は、どのように見積もったのか。

答 持続化給付金を受給した企業を参考にし、1370万円の減免を見込んだ。しかし正確な見込みはできない。

問 予定納税の還付金の予算枠は大きくなっているか。

答 不確定要素が多く、正確な見込みが立てられない。補正予算で対応せざるを得ない。

◇健康福祉課

問 救急医療情報キットの事業は拡充されるが、対応はできるのか。

答 所管は健康福祉課で、社協に配布と更新を委託している。

令和3年度から75歳以上が対象となる。

社会文教委員会協議会 2/9

健康福祉課と懇談会を開催しました。

「第2次飯島町地域福祉計画」・「飯島町地域福祉活動計画」（令和3～8年度）策定に関連し「いいじまお助隊」の基本的な考え方を、健康福祉課長・高齢者係・地域包括支援センターの担当者に聞きました。

「いいじまお助隊」の名称が先行し、新しい助け合いの組織を立ち上げていくイメージがある。しかし、具体的な動きが見えないため、お助隊の位置づけの説明を求めました。

「いいじまお助隊」は、互助組織であり、現在取り組まれている地域の支え合いなど、さまざまな取り組みのネットワークであるととらえています。

令和3年度にネットワークを結ぶプラットフォームの構築をする計画であると説明を受けました。

でいる。

ただし、医師の費用弁償など不確定要素もある。

問 人員2人体制で、対応できるのか。

答 係総動員で対応しなければならないと考えている。

シミュレーションを繰り返しても、実際は取りかからないとわからない部分が多い。

問 専門部署を設けている自治体もある。未曾有の災害だ。国のスケジュールがはっきりしない中で、兼務体制で十分な対応ができるのか。

答 状況に応じ全課に協力を求める。最優先事項と位置付け取り組む。

要望

※令和3年度においては、全課が事務事業の優先順位をコロナ対策、特にワクチン接種に重点を置いた体制をとること。

できれば専任プロジェクトの編成など、強化された体制作りを求める。

地域包括支援センターの生活支援で、個別訪問の際に記載が難しい人へ支援を行いたい。

詳細は、これから社協と相談し検討する。

問 引きこもり対策の令和3年度の具体的な取り組みは。

答 今年度、社協・教育委員会・保健師などで会議を開催した。不登校から引きこもりの人の、中学卒業後の情報不足などが課題として浮上した。

中学3年生に対する相談窓口の体制を整備する。

引きこもりサポーターも21人に増え、熱意もあり家族支援から始めたい。

問 コロナ対策関連予算のワクチン接種は、令和2年度は65歳以上、令和3年度は16～64歳を予算に計上している。

国は65歳以上も令和3年度対応とした。補正額の見込みは。

答 令和2年度分は全て準備できる前提で、2000万円を見込んで

町議12人決まる

任期満了に伴う町議選は3月21日投開票されました。

町議選最終結果

	得票数	氏名	年齢		得票数	氏名	年齢		得票数	氏名	年齢
当	685	坂井 活広	38	当	472	伊藤 秀明	67	当	251	堀内 学	32
当	541	宮脇 寛行	68	当	444	星野 晃伸	64	当	233	久保島 巖	74
当	500	片桐 剛	43	当	311	三浦寿美子	68		190	好村 拓洋	40
当	477	折山 誠	68	当	307	坂本 紀子	63		106	中西 秀一	69
当	477	吉川 順平	64	当	288	浜田 稔	74	(無効58票)			

投票率 68.55% 有権者数 7,790人

議会構成は次号

新エネルギー普及事業の連携できるか

予算特別委員会は、総務産業・社会文教の2つの分科会を設け各所管事務の審査を求め、分科会主査報告に対する質疑のあと、理事者への総括質疑・討論を行いました。

結果、それぞれ付託された新年度予算6議案全てを可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

令和3年度一般会計予算

主な財源

地方交付税	17億4000万円
町税	10億7512万円
国庫支出金	3億6913万円
県支出金	3億7212万円
町債	2億8500万円
繰入金	3億1686万円

主な支出

新型コロナ対策など	4806万円
飯島体育館・トイレ改修など	1億312万円
病児・病後児保育施設	3612万円
新エネルギー普及事業	1121万円
駐在所用地造成工事	1209万円
災害防止対策事業	2200万円

繰越事業

学校給食センター改築	6億7987万円
飯島流ワーケーション	8958万円

総括質疑

問 病児・病後児保育施設を4000万円かけて建設する必要性はどこにあるか。

教育長 保護者から以前より、近くに欲しいという要望があった。主体となる医師がいなかったが、医師の確保もできた。

まだ協定はできていないが、連携する町内の医療福祉機関もある。

建設費用の10分3は町負担だ

が、国・県の補助もあるので進めたい。

問 赤字の可能性が大きい事業だが、補助の考えは。

教育長 過去の例では、初めは利用者が少なく赤字だと聞いている。

利用はある程度見込め「医院の他の業務と合わせれば運営できる」という話をいただいているので進めたい。

問 新エネルギー普及事業と環境循環ライフ構想事業は部署が分かれている。どちらがリーダーシップを取るのか。

町長 新エネルギー事業は住民税務課で、新年度見直しをする。

環境循環ライフ構想は実戦部隊で、地域創造課に推進室を新たに設け、各課連携しやすい体制で進める。

問 コロナ禍の中で、いったんワーケーション事業は縮小して、必要性が見えてきたとき補正で

することもできるが、そうしない理由は。

町長 コロナ対策は当然行うが、ワーケーションは将来に向けての布石であり、同時に進めたい。

討論

令和3年度一般会計予算

賛成 文化活動に対する消極的な姿勢や、ワーケーションでは先が見えない中での実施に対し、実質的な答えがないなど、多くの指摘や問題点があったが、真っ先にコロナ対策を優先して、町政も前に進めなければならないと理解する。

特別会計

- ・国民健康保険会計予算
- ・後期高齢者医療会計予算
- ・介護保険会計予算
- ・水道事業会計予算
- ・下水道事業会計予算

以上5件 討論なし

※詳細はP4～5を参照



病児・病後児保育施設工事始まる

3月定例会 本会議表決結果

人事・条例など

※議案の採決は、堀内議長を除く11人で行います。

議案名	議決日	注 記	賛成	反対	審議結果
教育委員会委員の任命	即 決	任期満了に伴い、1名の再任	11	0	原案可決
情報公開条例の一部改正	即 決	データで請求できるよう改正	11	0	原案可決
基金条例の一部改正	即 決	企業版ふるさと納税を新設	11	0	原案可決
税条例の一部改正	即 決	地方税法の改正による	11	0	原案可決
介護保険条例の一部改正	即 決	3年ごとの見直し	11	0	原案可決
飯島町第6次総合計画	即 決	10年ごとの見直し	7	4	原案可決
国土利用計画(第4次飯島町計画)	即 決	10年ごとの見直し	7	4	原案可決
学校給食センター改築(防災備蓄倉庫併設)事業建設契約締結	即 決	本体と設備の工事契約	11	0	原案可決
トレーラーハウス購入物品売買変更契約	即 決	工期の変更	6	5	原案可決
道路線の変更	即 決	16路線	11	0	原案可決

令和2年度補正予算

一般会計(第11号)	即 決		11	0	原案可決
一般会計(第12号)	最終日		11	0	原案可決
国民健康保険特別会計(第5号)	即 決		11	0	原案可決
後期高齢者医療特別会計(第5号)	即 決		11	0	原案可決
介護保険特別会計(第5号)	即 決		11	0	原案可決
水道事業会計(第4号)	即 決		11	0	原案可決
下水道事業会計(第4号)	即 決		11	0	原案可決

令和3年度当初予算

一般会計	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
国民健康保険特別会計	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
後期高齢者医療特別会計	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
介護保険特別会計	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
水道事業会計	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
下水道事業会計	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決

指定管理者の指定

道の駅花の里いいじま	即 決	令和8年まで	11	0	原案可決
道の駅田切の里	即 決	令和8年まで	11	0	原案可決
滝ヶ原地区高齢者支えあい拠点施設	即 決	令和8年まで	11	0	原案可決
B & G 海洋センター艇庫	即 決	令和5年まで	11	0	原案可決
岩間・北町・上ノ原・中町・豊岡・山久・石曾根・鳥居原 日曾利・春日平・追引・南割・南田切・中平・北河原 本一・本五・本六・高遠原・新屋敷・南街道・北村 柏木・荒田・新田・針ヶ平・赤坂グリーンヒル集会所	即 決	自治会集会施設 令和8年まで	11	0	原案可決

賛否が分かれた議案の表決結果

○は賛成 ●は反対

議案名	滝本登喜子	三浦寿美子	久保島 巖	中村 明美	橋場 みどり	好村 拓洋	折山 誠	坂本 紀子	浜田 稔	本多 昇	竹澤 秀幸	堀内 克美	審議結果
※議案の採決は議長を除く11人で行います。													
飯島町第6次総合計画	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	原案可決
国土利用計画(第4次飯島町計画)	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	原案可決
トレーラーハウス購入物品売買変更契約締結	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	○	原案可決

コロナ対策と今後のまちづくり どうする

第1回臨時会 2/9

令和3年第1回臨時会に提出された案件は、補正予算案件2件・物品売買契約案件1件の計3議案を審議し、賛成多数で可決しました。

補正予算

一般会計（第9号専決）

歳入歳出予算は変更せず歳出予算の中で増減の調整を行う。

主な支出

新型コロナウイルス感染症検査補助金	260万円
新型コロナウイルス感染症傷病見舞金	35万円
予備費	△295万円

質 疑

問 検査補助金の内容と期間は。

答 PCR検査が上限2万円、抗原検査が上限8000円。帰省学生は1月31日で、受験・就職活動は3月末までの期間。

問 12月末から、今までの利用件数は。

答 6件

討 論

賛成 適切な専決である。しかし、今回の専決は12月15日の全員協議会の議員の意見で実施されたもので、本来ならば12月定例会に準備するべきであった。

今後はいち早く住民要望に応えることを求める。

補正予算

一般会計（第10号）

1億6587万円増額し、総額75億9046万円に。

主な財源

分担金及び負担金	350万円
国庫補助金	3789万円
県支出金	2147万円
繰入金	2500万円
町債	7800万円

主な支出

学生とつながろうプロジェクト	130万円
住宅リフォーム支援事業	60万円
コロナに係る防災関係費用	301万円
新型コロナワクチン接種事業	394万円
道の駅花の里事業継続補助金	185万円
道の駅花の里管理費	801万円
地域防災減災事業	3396万円
林道整備事業	3010万円
コロナ対策に係る事業継続応援	1650万円
千人塚公園施設管理費	1709万円
道路改良・舗装工事費	6671万円
消防団活動服	200万円
小・中学校管理費	2586万円
飯島公民館施設改修費（太陽光）	73万円

質 疑

問 コロナワクチン接種に係る内容は。

答 4月以降に65歳以上の高齢者から始まる予定。

接種会場は飯島文化館で、飯島中央クリニック・生協診療所いいじま・のどかクリニックに協力を依頼。

超低温冷凍庫1台は3月に、

飯島中央クリニックに置く。もう1台は6月の予定。

接種券は上伊那情報センターで一括対応。

V-SYSはワクチンに係る情報交換ができるシステム。

臨時職員2人体制だが、全課全庁での応援体制も準備する。

問 コロナ感染拡大が増える中、町内への影響を調べたか。

飲食・宿泊・運搬・酒屋・福祉事業者などの嘆願書の見解は。

花の里が国の持続化給付金・家賃支援補助が適用しないと知っていたか。

答 年末から飲食店関係には影響が大きく、アンケートを参考に1月下旬頃会議を開き、嘆願書を重く受け止め決定した。

花の里が適用しないことは4月頃から知っていて、施設使用料の減免要望もあり、検討していた。

討 論

賛成 嘆願書に対応し、コロナ対策が一步進むことを評価する。

第3号議案

トレーラーハウスの購入契約

トレーラーハウス5台 5500万円

討 論

反対 コロナ感染症の見通しが立たない中で、計画ありきで進めることに反対。

賛成 コロナ収束後の将来のまちづくりを展望したもので賛成。



本 多 昇

働き方改革

仕
組
み
づ
く
り
を
進
め
る
教
育
長

持
続
可
能
な
部
活
動
の
維
持
を

問 教師の負担軽減と持続可能な部活動の維持の両方を実現するため、対策が必要ではないか。

教育長 働き方改革は、学校現場における大変重要な課題だ。

中学校では、持続可能な部活動の維持が最重要課題だ。

学校と地域が連携して部活動を進めていく仕組みづくりを進める。

令和3年度は、国の「学校と地域が連携したスポーツ環境整備事業」に採択される予定。国や県のモデル校・モデル地域として、今後研究と体制を整えていく。



部活動の維持を

問 役場業務効率化の推進状況は。

総務課長 改革を進めているが、現状は目に見える形での効率化にはつながっていない。

職員一人ひとりが、いかに効率的・合理的に業務を遂行することを考えることが必要だ。

意識改革を進めていきたい。

令和3年度予算

問 新型コロナウイルスの影響で、町税が1億2700万円の減収を見込んでの予算となった。

減収分の財源の対応は。

企画政策課長 経常経費の削減と国の財政措置の活用を検討し、一般財源の圧縮を図った。

不足する部分は財政調整基金などで対応した。

問 防犯灯修理補助金の検討結果は。

総務課長 自治組織の負担軽減のため、修繕費の2分の1以内で上限2万円の補助を行う。

押印廃止

問 地方公共団体における押印廃止の見直しは、行政手続きでの国民の負担を軽減し、利便性を図ることが目的だ。

町の方針は。

町長 住民の負担軽減と利便性の向上につながるよう見直しを行っていく。

起業支援

問 移住者などが空き家を利用して事業を始める際、事業資金の調達に苦労する。古民家を活用するためにも起業支援が必要だ。

町商工業振興資金の新規開業資金700万円以内を1000万円以内にする限度額の増加を。

産業振興課長 起業資金の調達支援として、魅力的なものになるので今後研究する。

問 事業者の、空き家の改修等補助金50万円の増額を。

地域創造課長 起業支援全体の調整を図る必要がある。最善の支援ができるよう検討する。

千人塚公園

問 千人塚公園の利用者がますます多くなるように提案する。

- ・「道の駅花の里いいじま」に「千人塚公園」の大きな看板を建てる。

- ・東屋（焼肉用のかまど付き）を数カ所建てる。

考えは。

地域創造課長 看板は、道の駅トイレの改修に合わせ、景観に配慮して設置する場所や大きさを県および指定管理者と協議する。

東屋は、城ヶ池の西側に1カ所設置し、利用状況を見て検討する。

〔以上5件質問〕



滝本 登喜子

地域福祉

互助・共助活動の具体策は プラットフォームの 構築に取り組む 町長

問 地域福祉の地域における支援体制では、自治会組織の中で連携し、互助・共助活動を行うことが必要だ。具体策は何か。

また、住民が隣近所の状況を理解していなければならないが、個人情報などをどこまで開示するか。

町長 支え合い・助け合いの地域づくりを進めるために、気軽に頼り・気軽に助けることができる「お助隊」のプラットフォームの構築に取り組んでいる。

健康福祉課長 地域で作成している「支え合いマップ」は、隣組単位での情報が必要ではと考えている。要配慮者の名簿を整



「お家ボランティア」の説明会

えているが、本人などの同意が得られた場合は、自治会と情報共有している。

問 「飯島版高齢者のごみ出し支援」の進捗状況は。

健康福祉課長 県主催のごみ出し研修に参加し、事業の研究をしている。

現在、高齢者生活支援サポーターや近所の人などが対応している。

生活支援の1つとして、町の関係部局が連携し、地域の支え合いも含め、町独自の対策や仕組みを創出していきたい。

問 身近な民生委員へ、相談ができずにいる一人暮らし高齢者などの支援は。

健康福祉課長 町では高齢者の台帳を整備し把握をしている。

相談も多様化・複雑化しており、地域包括支援センターを中心に、連携を一層強化し支援していく。

問 民生児童委員は、行政や関係機関とのつなぎ役であるが、会議の中で、対応や成果の報告はされているか。

健康福祉課長 民生児童委員が受けた相談は、例会で報告し共有している。

プライバシーの観点から会議の中で全て報告はされないが、共有して良い相談・情報は委員会発行の「お元気ですか」や、町の広報誌で情報発信に努めていく。

発酵食品のまち推進事業

問 事業の今後の取り組みと、加工グループへの支援は。

産業振興課長 発酵文化を基盤とした地域の活性化・長寿のまちとして取り組んでいく。

町内の発酵食品製造企業や加工グループなどと、発酵食品のまちの発展などに対する意見を聞き、アンケート調査を実施した。

この結果をもとに、講演会やイベントの実施を考えている。

コンパクトシティ構想

問 この構想は、第6次総合計画にあるのか。

建設水道課長 総合計画の施策「暮らしを支える強靱で快適なライフラインの創造」に、将来のまちづくりの指標があり、構想名の記載はないが課題として研究していく。

〔以上3件質問〕

生物多様性 地域戦略

早急に策定を

環境循環ライフ構想に含んでいる 町長



久保島 巖

問 2月のむら夢塾で「生物多様性地域戦略」の講演があり、町長も賛同していた。町の地域戦略を策定すべきでは。

町長 まちづくりとして大切な考え方で、環境循環ライフ構想の中に含んでいる。

問 環境循環ライフ構想は、生物多様性地域戦略の1つの取り組みと考える。行動指針の1つとして位置づけたらどうか。

町長 考え方が逆だ。町の自然の豊かさが人々に影響を及ぼし、癒し・熟成・スローライフ、これが核になっている構想で、町の特徴を捉えたものだ。

問 環境循環ライフ構想は、水力発電・バイオマス発電・排熱利用のアグライノベーションとワーケーションで、それが町の基本とは情けない。生物多様性地域戦略はそのような狭義のものではなく、もっと大きく包括されたものだ。

そもそも環境循環ライフ構想の中で、ワーケーションは異質のものだ。循環が見られないが、どう説明するか。

町長 この地域で享受している自然の豊かさを、循環していきうということだ。水力発電を自主財源にしようとする動きや森林資源の有効活用やその排熱を使った農業はハードな価値だ。

大事なのは、ここに育った人

達の暮らしや精神が循環しているということだ。その体験をして貰うのがワーケーションだ。

問 町には「1000ha環境共生農場づくり・地域複合営農への道」という素晴らしい農業地域計画がある。これに少し手を入れれば立派な「(仮)飯島町生物多様性地域戦略」になるが、考えは。

産業振興課長 まさにこの計画は、生物多様性地域戦略の考え方で、生物多様性の保全と持続可能な利用を含めた考え方を盛り込んでいる。この計画の中で取り組んでいく。

「お助隊」はどうなった

問 お助隊は町長2期目の目玉事業だったはずだ。これが3月になっても見えてこないのはなぜか。社協に丸投げなのか。

副町長 丸投げをしたわけではなく、地域の把握や庁内の関係部署・区会・公民館と研究してきた。目に見えていないが、地域にはそうしたものが既にあり動いている。ネットワークづくりをし、プラットフォームを令和3年度には構築したい。

問 お助隊の肝はひとづくりだ。人材育成や人の助けを素直に受け入れる気持ちを持てるような講座が必要だ。教育委員会所管

ではなく、まちづくりの一環ですべきだが。

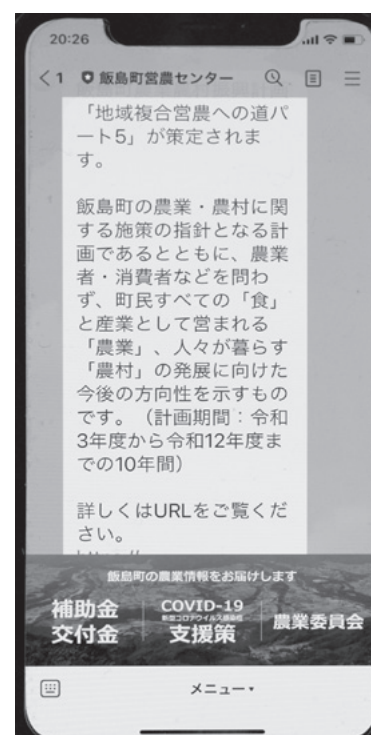
町長 お互い様の社会で、研修などハードルを上げる気はない。

LINEの活用を

問 コロナ禍にあり窓口のLINE活用など進めるべきだ。

「営農センター」はすでに活用できており、住民税務課や健康福祉課などの窓口業務は早急に活用に向けた取り組みをすべきだが。

総務課長 県でもLINEの公式アカウントツールの共同調達を研究しており、その動きを注視している。



営農センターの公式LINEアカウント

[以上3件質問]



橋場 みどり

買い物支援

移動販売車への対策は

事業者も努力を 町長

問 町内の移動販売車・宅配サービスの状況は。

町長 今年度より地域おこし協力隊員を配置し、高齢者などの買い物支援対策事業を行っている。

移動販売車も運行を継続している。

健康福祉課長 宅配サービスは、電話・FAXで注文を受け個別宅配。宅配中に心配される人の情報を、地域包括支援センターと共有している。

利用者も徐々に増えている。

産業振興課長 移動販売車は、自治会の集会所・事業所など、

週1回のペースで26カ所巡回している。

問 動くスーパーといわれる移動販売車（以下、新規事業という）が駒ヶ根地区を訪問エリアにする。我が町の脅威となるが対策は。

産業振興課長 インターネット注文や高齢者世帯への効率的な巡回方法の研究・利便性の向上を検討していく。

健康福祉課長 具体的に買い物支援にかかる事業への影響は想定していなかった。

問 移動販売車の運行前に新規事業の事前調査を行っている。その手法を各課連携でなぜ生かせなかったのか。

産業振興課長 調査情報の共有ができていなかった面もある。

新規事業のマネージャーが来て、各担当が営業方法など、一緒に話を聞いた。

健康福祉課長 福祉の面では、行き届かないところへの支援の一つになると考える。

問 町内の移動販売車と宅配サービスが互いに補うような手法を、調査結果から発想できなかったのか。

産業振興課長 移動販売車と宅配は棲み分けをしながらやっている。職員体制・環境もある。

住民が利用しやすいように随時検討し、良い方向にしたい。

問 両事業者へ、困っている事は何かを聴き、関わってほしい。



動くスーパーといわれる移動販売車並みに充実を

検討が遅く、課と課の連携が取れていないが。

町長 連携が取れていない欠点はあると思う。担当課は「次に何をすべきか」という想像力を必要とするのが使命だ。

問 新規事業者が参入する中、町内事業者を守らなければならない。対策は。

産業振興課長 地域の人にもお店を使ってもらいたい。

事業者も努力をしてもらい、町もできる支援をしていく。

問 コロナ禍で、商売の転換を考える新たな挑戦者への支援を求めるが。

産業振興課長 町商工業振興資金の融資に新規開業資金がある。限度額は700万円で保証料負担と一部利子補給をしている。

外国籍住民の 防災サポーター

問 『外国籍の人も地域防災の担い手であることを認識し、活躍してもらいたいが』と以前質問したが、検討結果は。

総務課長 今年度中には検討できなかった。今後検討する。

〔以上2件質問〕

新型コロナ

追加経済対策を求める

状況に応じ対応する 町長



折山 誠

問 町内では、さまざまな業種が困窮していることが顕著だ。

事業継続支援枠拡大など、早急に連続する追加対策を行うべきでは。

町長 これまでに、健康対策に2億2000万円。経済対策に4億4000万円。計6億6000万円の対策を行ってきた。

引き続き状況に応じた対策を行っていく。

問 解雇や勤務時間短縮による収入減がある。苦境にあえぐ世帯の支援が必要だ。子育て世帯・生活弱者を対象とした第3弾の地域復興券事業を求めるが。

町長 思いは同じであり、国の第3次補正予算を活用し、生活弱者にメリットのある方法を考える。

問 コロナなどの影響で、収入の激変した世帯の児童生徒の把握強化と、支援の迅速性を求めるが。

教育長 校長会を開き、児童生徒の見守りを要請した。

学校現場では、集金の滞り・日頃の服装や生活態度などを観察し、困窮の状況を把握している。

教育委員会と連携して迅速に対応している。

問 コロナ禍は当分続く。

『今の町民の苦境を救うためには、基金の大胆な取り崩しも

辞さない』そのような力強い町民に対する安心メッセージを求めるが。

町長 支援策の継続など、目の前のコロナ対策・コロナ収束後の経済基盤強化のための投資など、基金の活用を含めて、ためらわずに対策する。

問 新型コロナワクチン接種に向け、医療機関との連携は進んでいるか。

健康福祉課長 個別接種・集団接種などの協力を要請している。円滑な接種に向けて協議中だが、情報が少なく苦慮している。

問 接種補助職・事務職など、万全な接種体制を求めるが。

健康福祉課長 最優先事業として課の総体制で取り組んでいく。

問 高齢者など、交通弱者の接種会場までの送迎をどう対応するか。

健康福祉課長 送迎の必要性を

感じているが、具体的な内容は検討中だ。

子育て支援充実を

問 コロナ禍で、日中に子どもと二人だけの長い時間を過ごしている母親たちが、万全なコロナ対策をして、親同士が触れ合う機会づくりを求めているが。

健康福祉課長 親子のふれあひ行事は減っており、心細い思いを抱えた親のいることは承知している。電話相談や戸別の訪問も行い、育児の不安解消に努めている。

問 利用が増えている「いっ子センター」の、開所日・時間の延長を求めるが。

教育次長 開所日の増や時間延長などは、保護者の要望に応じ、総合的に判断して行く。

〔以上2件質問〕



子育て支援・交流の拠点 いっ子センター



坂本 紀子

コロナ禍

感染防止と 経済活動の両立を進める 町長

問 花卉・複合栽培・農業法人・農産物加工業者の状況と支援は。

産業振興課長 10月の調査では、収入50万円以上の農業者の381人へ送り、42人から回答。

影響のあった月と前年同月の差が5割以上の減少は10%、2.5～5割の減少は21%、2.5割以下の減少は31%であった。

花卉農家17件の、高収益作物次期作支援交付金の申請は5470万円。

それ以外の農家36件は、国の経営継続補助金3097万円が

交付された。

国の持続化給付金や家賃支援給付金、町の感染症対策補助金などで対応した。

問 高収益補助金は決定はしたが、申請者は急いでいる。交付はいつになるか。

産業振興課長 国へ聞き申請者に伝える。

*3月17日に支払われました。

問 部品製造業・自動車整備業・建設土木業の状況と支援は。

産業振興課長 年末の企業実態調査では、前年同月比の比較で、製造業は5割が影響が続いている。3割は回復している。自動車整備業は修理など減っている。建設業は8割は影響がない。

支援は、国の持続化給付金・家賃支援給付金。

町の経営安定対策融資は、製造業は29件で、3億5660万円。自動車整備業は7件で、5150万円。建設業は19件で、1億9880万円。

15万円のコロナ対策支援補助金は、製造業で2件30万円。

危機突破支援補助金は、自動車整備業で1件50万円。

衛生資材支援金は、製造業など37件183万円。建設業で23件114万円。自動車整備業は、10件49万円。

問 令和3年3月から新しい補助金で、一時支援金・中小企業等事業再構築推進事業・生産性革命推進事業がある。

内容は知っているか。

産業振興課長 随時、情報は収集し対応したい。

問 物販販売業の状況と支援は。

産業振興課長 活動自粛で売上の減少はあるが、取り扱い物品

で違う。コロナ対策支援補助金15万円は、物販・小売業で2件30万円と飲食業1件14万円。

危機突破支援補助金は、物販1件で3万円と飲食業4件134万円。

衛生資材支援金は、物販24件110万円と飲食業34件167万円。

経営安定対策資金は、物販で18件融資額1億7799万円と、飲食業17件融資額7100万円。

町長 感染防止策の継続と経済活動の両立を進めるため、今後にも必要な対策を実行していく。

飯島流ワーケーション

問 この事業は昨年9月に可決されたが、設置場所の春日平への説明が遅れたのはなぜか。

地域創造課長 9月議会後、地区営農組合や法人の代表に協力と事業説明をした。

10月に商工会・営農センター・観光戦略会議・飯島町営業部に説明。

11月26日の春日平自治会の月例会で、概念的なことを説明した。

問 この企画が立ち上がったのはいつか。

町長 第2次地方創生交付金の活用を考えたので、6月の前後である。

国からの交付金の活用には、コロナ収束後を見据えた新生活様式に対応した計画を示す必要があった。

それがトレーラーハウスを活用したワーケーションだ。

ほかに、(仮)空き家解体のローンの仕組みづくりを質しました。〔以上3件質問〕

医療機関の
充実

眼科医誘致を

取り組みを進めたい 町長



中村 明美

問 白内障は70代以上では9割。年齢と共に視力障害が生活上の支障となり、活力低下につながる。

早期発見・治療で重症化を防ぐため、60歳の節目健診に眼科健診追加を求めるが。

健康福祉課長 国の指針だと高血圧などリスクのある人が対象だが、町は眼科疾患の早期発見のため、対象者全員に実施している。眼底検査のみのため、今後は独自の眼科健診で、実施可能か研究する。

問 眼科医は幅広い年齢層が必要としている。また、近隣に少なく待ち時間に悩まされている。

町民要望に応え、眼科医誘致を求めるが。

町長 住民ニーズの高い診療科目であり、近隣の眼科状況を鑑み誘致を進めている。



©NEW KOMEITO

眼科医誘致で「医療の充実」一歩前進を！

健康福祉課長 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後、前向きな取り組みを続けていきたい。

飯島流ワーケーション

問 この事業での町民理解度は低迷状態とを感じる。町長の思いが、町民にどう受け止められていると思うか。

町長 現状では、トレーラーハウス5台を設置するということしか伝わってないように思う。

問 トレーラーハウス5台は、町民にいろいろな憶測が起きてしまい、説明不足だ。

行政と町民の双方が、力を合わせ進めることが成功への鍵。

コロナ対策の現状課題への取り組みと、未来の町を展望した上で、なぜ今この事業に踏み出すことの重要性を丁寧に説明しなかったのか。

事業の推進には、町民の理解と参加で、生活に活力が湧く事業となるよう、リードを求めるが。

町長 今まで説明不足だった分は、これから動画なども利用し、各地区を回る。動画は20～30分で、自ら説明する。

問 成功には、職員との意思疎通が最重要。そこが町民理解への第一歩と思う。

町長の考え方やスピードに職員が合わせられていると思うか。

町長 職員には、環境循環ライフ構想の一環として、ワーケーション事業説明をした。

4月からスタートのため、職員の理解を得られるよう、努力を重ねていく。

SDGs活動

問 企業が意欲的に取り組むよう、どう働きかけを行っていくか。

町長 町は「SDGsを推進している」ことをアナウンスしていく。

企業には、普段の事業活動がSDGsに関係すると、気づいてもらいたい。

問 SDGs活動をする町民グループを町が称えていくことを提案するが。

町長 評価はいかなものかと思う。

SDGsの精神が町の中に伝わるよう、17の目標に当てはまる活動であると認識できるような形で進めていきたい。

〔以上3件質問〕



三浦 寿美子

コロナ対策

防災対策で対応する 町長

空気清浄機の自治会貸し出しを

問 議員有志4人で「新型コロナウイルス感染症に係る住民アンケート」を行い、300通を優に超える返信があった。

なかでも「引きこもりがちになった」「友だちに会えない」「子どもや孫に会えない」など、高齢者の声が多かった。

新型コロナに感染リスクが高い高齢者の深刻な問題だ。

引きこもり解消・運動不足・認知症予防など、介護予防の早急な対策が求められる。

集まれる場所の確保として、町が空気清浄機を購入し、各公民館へ無償で配備する。

公民館は自治会などの希望に応じて、貸与できないか。

町長 そうした声は、町としても十分承知している。

新型コロナウイルスは、日常生活にさまざまな影響を及ぼしている。

自治会集会所は、災害時に緊急避難所となるため、考えていく必要がある。

総務課長 各区の公民館は、指定避難所になっている。新型コロナウイルス臨時交付金を活用して、2種類の空気清浄機を公民館に配備するよう進めている。

提案の貸し出し方法は、一案と思う。

各自治会集会所に配備できればよいが、災害時に必要な備品が多く、調整して対応したい。



「みんな」と早く会いたい

問 「生活保護申請に対する扶養照会は義務ではない」と厚労相が明言している。

コロナ禍で生活困窮している人が増えている。国は躊躇せず申請をするよう呼びかけているが、扶養照会があることがネックになっていて、扶養に繋がったのは全体の1.6%である。

扶養照会は必要ないのでは。

保健福祉課長 生活保護制度は、健康で文化的な最低限度の生活

を保障する制度。

明らかに自立を阻害するような事案は、扶養照会しないことになっている。

扶養義務者の扶養の可能性を調査するが、一律には行っていない。

問 生活保護制度は生命線であり、心配せずに申請ができるよう、分かりやすい周知を求めるが。

健康福祉課長 相談しやすい体制と周知に努める。

リフォーム済み 空き家の準備を

問 コロナ禍で、Uターン・Iターンする人がいる。

家族での移住も増え、家の間

取りや通学に送迎が必要など、実家での同居が困難な人もいる。

「学校に近い空き家は、リフォームしないと入れない物件ばかりだ。子どもが通い始めていなければ他市町村に行きたい」と声を聞いた。

移住対策に、すぐに住める空き家が必要だが。

地域創造課長 町でリフォームするよりも、要望に合ったものを自分で造ってもらう支援をしてきた。

今年度は新築が多く、空き家の成約件数は20件だった。

今後も研究していく。

〔以上2件質問〕

新型コロナ 対策

PCR検査キット配布を

感染状況をみて検討したい 町長



好村 拓洋

問 1月末に議員有志で、町民向けに「新型コロナウイルスに係る町民アンケート」を行った。

意見の中には「子や孫に会いたい」「近所の集まりがなく寂しい」などの思いから、PCR検査を受けたいという想いが綴られていた。

町内取扱事業者によると、1万人分発注すると1回1500円できる。

町で購入し、希望者に配布することを求めるが。

町長 簡易キットでの検査は、性質上誤判定があると報じられている。

地域の感染状況をみて対応を検討したい。

健康福祉課長 自費検査の需要は増加しているが、検査機関の精度にばらつきがある。

陽性となっても医療機関を受診しないなどの問題がある。

検査の助成などは検討したい。

問 発熱の症状があった場合、相談・受診・検査などの手順はどうか。

健康福祉課長 疑いがある場合は、自費検査を行わず、かかりつけ医または県の受診相談センターへ相談してもらいたい。

自費検査の場合、検査機関によって対応が異なる。

医療機関で検査し、医師の診断で陽性となった場合、届出を医師が保健所へ行う。

医師の診断を伴わない検査の場合、検査機関の提携医療機関があればその医療機関での診断になる。

提携医療機関がない場合は、自ら相談センターやかかりつけ医に相談となる。

問 南信地域の病床逼迫度は県HPによると0.8%だ。必要があれば入院は可能か。また、町と医療機関、保健所の情報共有などはできているか。

健康福祉課長 入院できるかは町で状況把握していない。

陽性と判断された場合は、保健福祉事務所での対応となる。

現状事例がないので、情報を共有できているわけではない。

問 感染が拡大した都市部では、たらい回しで入院できず、自宅で亡くなられている人もいる。

PCR検査や今後のワクチン接種も含め、ワンストップで対応する専門の部署が必要だが。

副町長 町は、新型コロナウイルスの対策相談窓口は限定せず、職員全体であたっている。

専門知識の要る問合せには、保健師が相談を受けている。

ワクチン接種は責任もって対応していく。

情報は全て県が握っているので保健福祉事務所の指示に従う。

問 新型コロナ対策の「傷病手

当金」制度が3月末で終了する。

感染リバウンドの懸念もある中で、暮らしを守るために当面の間延長するべきと考えるが。

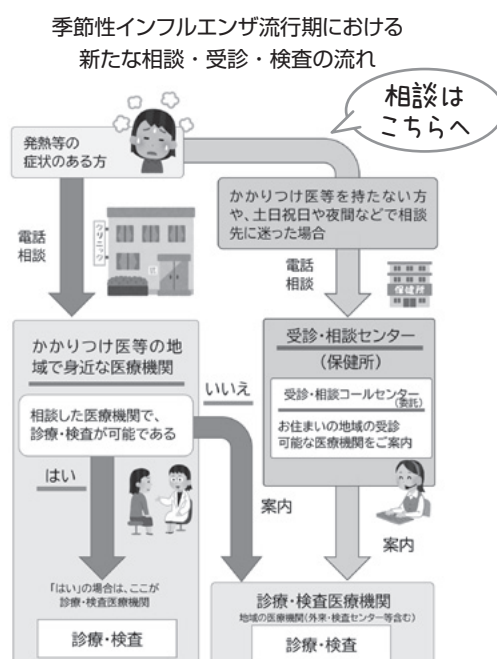
町長 いろいろな情報を掴みながら適切な対応をとりたい。

問 新型コロナに係るアンケートを定期的に行うべきと考えるが。町の考えは。

総務課長 商工業関係は担当課において都度調査している。職員も日々の業務のなかで町民の声を聴き、把握に努めている。

全町民を対象とした実態調査は、必要性も感じており実施したい。時期は昨年の所得の確定や事業決算が明確になった頃を予定している。

〔以上1件質問〕



出典：県ホームページより



竹澤 秀幸

人口減に 危機感を

M村に負けない対策を

魅力ある町を目指す 町長

問 町は、2020年に社会増（転入超過）であった。

過去8年間の人口動態をM村と比較し、将来5年間の推計すると、2025年に当町は8943人・M村は8986人で、追い越される。

危機感をもって人口増対策を。

町長 社会増は明るい話題であるが、一喜一憂はしない。

魅力ある町を目指して人口増に取り組む。

学校統廃合

問 2025年に飯島小学校が1



2025年浮上する学校統廃合

学年1学級となる。

統廃合などの検討は。

教育長 統廃合の検討は、教育委員による教育委員会の専権事項だ。

複式学級となった時点で、本格的に検討を始めるのが基本姿勢となる。

統廃合するにしても、単純に小学校だけを統合する・小中の統合・義務教育9年間の併設型の小中学校なども考えられる。

町道丸山線 新設改良

問 総延長・幅員・構造およびルートと、概算の工事費および実施年度計画と期待効果は。

建設水道課長 丸山線は、県道北林飯島線の南信精機製作所北から、町道荒田線との交差点部分までの200mの道路。

新設道路改良工事は、町道荒田線から町道北街道縦3号線を結ぶ、総延長で約70m・幅員

5m・事業費2000万円。

令和3年度に調査し、以降用地買収、工事などを進め令和5年度完成予定。

通行車両などが分散されるので、歩行者の安全が図られると期待している。

町税などのスマホ決済

問 町税などをスマホ決済にする考えは。

住民税務課長 令和3年度6月開始に向け準備中。

スマホ収納で利用可能なのは、Pay Pay（ペイペイ）とLINE Pay（ラインペイ）を考えている。

対象になるものは、個人住民税の特別徴収と法人住民税以外の全ての税。

収納できる料金は、介護保険料・後期高齢者医療保険料・上下水道料及び保育料である。

〔以上4件質問〕



有効活用期待の丸山線

環境循環 ライフ構想

具体性に乏しいのでは

町のブランド力を高める ネーミングだ 町長



浜田 稔

問 「環境循環ライフ構想」が発表された。

- ①飯島流ワーケーション
- ②水力発電
- ③バイオマス発電
- ④アグリイノベーション

の4施策からなる。①はこれまでも議論になってきたので、②以下の施策の具体的な内容を質したい。

②の水力発電は2億円が3カ年計画に盛ってある。事業主体は町という意味か。

町長 町が投資する。収益がテーマなので慎重に進めたい。

問 100kW級の発電は岐阜の小集落で実施しているレベルだ。

町が主体で、利益をすべて町内に還元すべきだが。

町長 県企業局のノウハウを受け、協力して進めたい。

問 ③のバイオマス発電で飯島の森林が整備されるとの説明だが、塩尻の発電所の縛りがあり、実現しないのではないかと。

また、町の利益は何か。

町長 大手民間企業が担うので固定資産税が入り、交流も増える。町の全ての森林資源が使えるわけではない。

問 ④のアグリイノベーションはバイオマス発電の排熱を使って新しい農業を行うとの説明だ。

しかし、概算すると10ha（水田30枚相当）の巨大温室でも使いきれない熱量で、作付け品目は限られてくる。

巨額の初期投資・販売網を誰が担い、町にどのような利益もたらされるのか。

町長 熱量を全部使ったら温泉

5カ所分のようなようだ。活用は日本食農連携機構がとりまとめ役で、都市部の大手企業と具体化を進めたいが、コロナ禍で遅れている。

検討の進捗に応じて説明したい。

問 構想が含む4つの施策の関連も薄く、具体性に乏しい。

事業計画や収益検討も無い。

町の事業は、住民参加の合意形成をし、3カ年計画に優先度を示すべきだ。

その上で議会も住民の意向を汲み、議決して進めるものではないのか。

唐突な提案の理由は何か。

町長 「環境循環ライフ構想」は、事業名では無く、町の課題の解決法をまとめた呼び名である。

飯島町のブランド力を高めるネーミングだ。

問 コロナ収束には数年かかるが、町の重点プロジェクトにはコロナ対策の記載が無い。

コロナは、生活や事業を深く傷つけている。国のコロナ対策交付金だけでなく、重点プロジェクトに位置付けて、町独自でも取り組むべきだが。

町長 重点プロジェクトに記載はないが、対策は『全集中』で取り組み、将来のことも考えていく必要がある。

コロナ対策は国からの予算を活用したので、財政調整基金を取り崩さずに実施できた。

〔以上1件質問〕

岐阜県北部、人口250人の集落が立ち上げた小水力発電所。125kWの発電機で地域から電力を輸出し、年2,000万円程を売り上げ。若者の転入も増えている。



地域資源は地域のもの

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様に取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は「飯島FC(フットボールクラブ)」のGM伊藤敦さんに登場していただきます。

サッカーを通じた子どもたちの育成

飯島FCは、現在ジュニア・ジュニアユース・社会人の3つのカテゴリーからなるチーム構成と「飯島FC蹴友会」と称した、次の世代の子どもたちの育成や、環境整備にご協力いただける皆さんによる組織で構成されています。

組織の特徴は、県の体育協会より総合型スポーツクラブの理念に合致していることで、平成25年1月に「飯島町総合型スポーツクラブ」を設立しました。

totoの支援事業により、関係する施設へアルミのサッカーゴールを町へ寄贈しました。

クラブは1981年にスタートを切り、本年度で40年目の節目の年となりました。

クラブは、サッカーを通じて、スポーツの楽しさを身に付け、生涯スポーツの礎を築き、心身共に健全な子供の育成を目指す事を目的としています。

練習や試合を通じて、勝つことの喜びや、負けることの



くやしさを体感しながら日々練習しています。

指導者・親・子どもが共に育つ(共育)を目指して成長していきたいと考えています。

現在のサッカー環境は、スクールやチームといった幅広い選択肢があり、環境は幅広くなっています。

「保護者への金銭的な負担が多くならない」・「小学校期間は子どもとの関わりを多くもつ」ことを念頭に活動をしています。

「保護者会活動が大変」との声の聴くことがありますが、保護者が自分たちのために、活動する姿を子どもたちはきちんと見ています。その事も、

子どもたちの育成に非常に重要な事であることをお伝えしたいと思います。

町や議会に望むこと

飯島町は、近隣の市町村に比べ、体育施設の数は恵まれた環境にあります。しかし、正規サイズではないことが最大の課題となっています。

クラブでは7年前から、町に対し防災拠点とした人工芝グラウンドの設置提案をし続けています。

ぜひ、素晴らしいロケーションの柏木グラウンドを、人工芝にするよう将来の町のため、切に希望いたします。

議会だより

問題

新しく設置されるのは
環境循環〇〇〇〇〇〇推進室

ヒントは
8ページに

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈
(締切は5/31、発表は発送をもってかえさせていただきます)



応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

編集後記

新年度、編集委員構成も一新、適切な確な情報発信に努めてまいります。

今後も議会からの広報をよろしく
お願いします。

発行責任者 議長 折山 誠

編集委員 ◎片桐 ◎久保島
浜田・吉川・星野・堀内